

グラフでみる

# 労働災害の現況

平成 21 年

# contents

はじめに

## 安全関係

1. 第11次労働災害防止推進計画(平成20～24年)の推進状況
2. 平成21年 労働災害発生状況
3. 業種別でみる労働災害発生状況の推移
4. 死亡災害発生状況の推移
5. 事故の型別でみる労働災害発生状況
6. 起因物別でみる労働災害発生状況
7. 事業場の規模別でみる労働災害発生状況
8. 年齢別でみる労働災害発生状況
9. 事故の型別・起因物別の労働災害発生状況
10. 重大災害発生状況
11. 平成21年 死亡災害事例

## 労働衛生関係

12. 定期健康診断実施結果
13. 特殊健康診断実施結果
14. じん肺管理区分の決定状況
15. 業務上疾病の発生状況

## はじめに

わが国の労働災害による死傷者数は、長期的には減少傾向にあるものの、今なお年間約54万人の労働者が被災しており、その社会的・経済的損失は膨大なものとなっています。平成21年(速報値)の休業4日以上死傷者数は、114,152人と前年に比べ14,874人減少し、そのうち亡くなられた労働者の方は1,070人となっています。

岐阜県内における平成21年の休業4日以上死傷者数は1,968人で前年に比べ430人(17.9%)の大幅な減少となりました。また、死亡者数は22人で前年に比べ4人の減少となりましたが、第11次労働災害防止推進計画の基準年である平成19年と比べ休業4日以上死傷者数は21.9%減少しているにもかかわらず、死亡者数は10%の増加となっており、厳しい経済情勢化での景気後退による影響により、死傷災害が大幅に減少する中で、死亡災害などの重篤な災害に歯止めがかからないばかりか、総災害件数に占める割合が増加する傾向が見受けられます。

災害発生状況をみると、基本的な災害防止対策が講じられていない例も認められ、安全管理の基本を見直し、労使が一体となり、事業場の安全管理活動を推進することの重要性を再認識するとともに、労働災害の一層の減少を図るためには、リスクアセスメント等の実施により職場にある潜在的な危険性や有害性を排除することが必要です。

一方、健康診断の結果をみると、脳・心臓疾患につながる高脂血症等に関する所見など何らかの所見を有する労働者の割合が50.8%(平成21年)と年々高くなっております。健康診断の有所見率に歯止めをかけ減少に転じさせるためには、事後措置、保健指導等の充実が望まれ、過重労働による健康障害の防止対策、メンタルヘルス対策等の労働者の健康確保対策なども重要な課題となっています。

このような状況の中、安全で安心して働ける快適な職場を構築するためには、経営トップの強いリーダーシップのもと、労使による自主的な安全衛生活動を充実することにより「災害ゼロ」から「危険ゼロ」に向けた取組を活性化することが不可欠です。

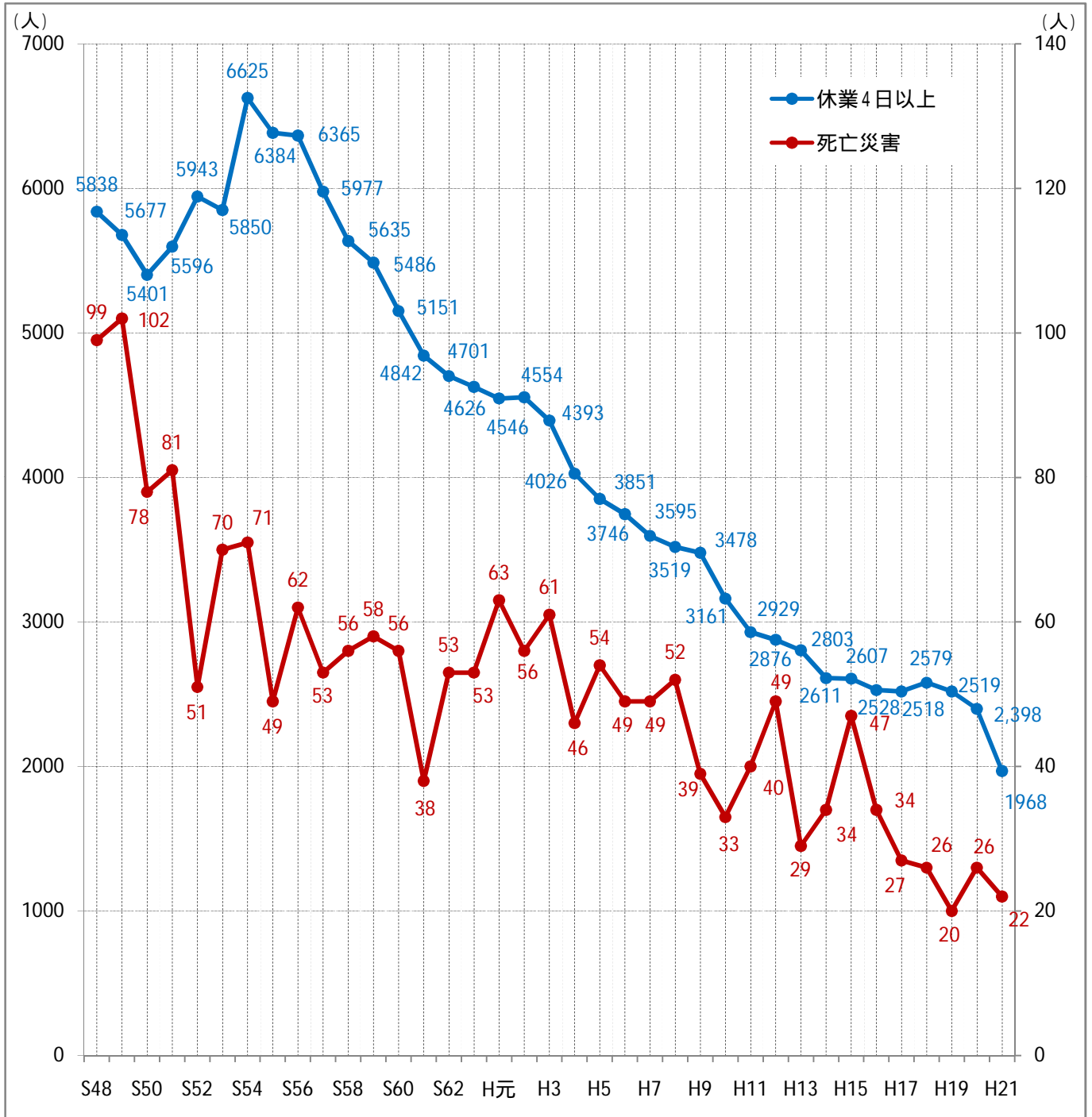
この冊子の発刊にあたり、各事業場において活用され、安全衛生管理活動のより一層の向上を図っていただくために一役を担うことができれば幸いです。

平成22年5月

岐阜労働局

参考

### 岐阜県における労働災害の推移



# 1 第11次労働災害防止推進計画の推進状況

## 1 計画のねらい

労働者の安全と健康の確保された働きやすい職場環境の実現は労働者自身のみではなく、労働者の家族や事業場にとっても大切な願いであり、事業者は生産活動を優先して、労働者の安全と健康が損なわれないように配慮した事業活動を行い、労働者も事業者が行う安全衛生活動を深く理解し、積極的に参加する必要があります。

また、労働災害防止対策を総合的・計画的に推進するために長期的な観点から実施すべき安全衛生対策の具体的な内容を明確にして中・長期的な計画等を策定することが自主的な安全衛生活動の促進にもつながります。

この推進計画は、厚生労働省が策定、公表した「第11次労働災害防止計画」の趣旨を踏まえて、各事業場の労使が一体となって安全衛生活動を実施し、快適で働きやすい職場環境の実現に向けて積極的に取り組むことにより、県内の事業場の安全衛生管理水準の向上が図られるよう具体的な実施事項を5か年計画として示したものです。

## 2 計画の期間

平成20年度から平成24年度まで

## 3 計画の目標

岐阜県内の労働災害による死亡者数について、平成24年の死亡者数を平成19年(基準年)の死亡者数と比較して20%以上減少させる。

岐阜県内の労働災害による死傷者数について、平成24年の死傷者数を平成19年(基準年)の死傷者数と比較して15%以上減少させる。

労働者の健康確保対策を推進し、定期健康診断における有所見率の増加に歯止めをかけ、減少に転じさせる。

## 4 重点対策

- リスクアセスメントの普及促進
- 機械災害の防止
- 墜落・転落災害の防止
- 粉じん障害の防止
- 化学物質による健康障害の防止
- 労働者の健康確保対策
- メンタルヘルス対策

## 5 目標達成に向けた労働災害防止対策

自主的な安全衛生活動の促進に向けた対策

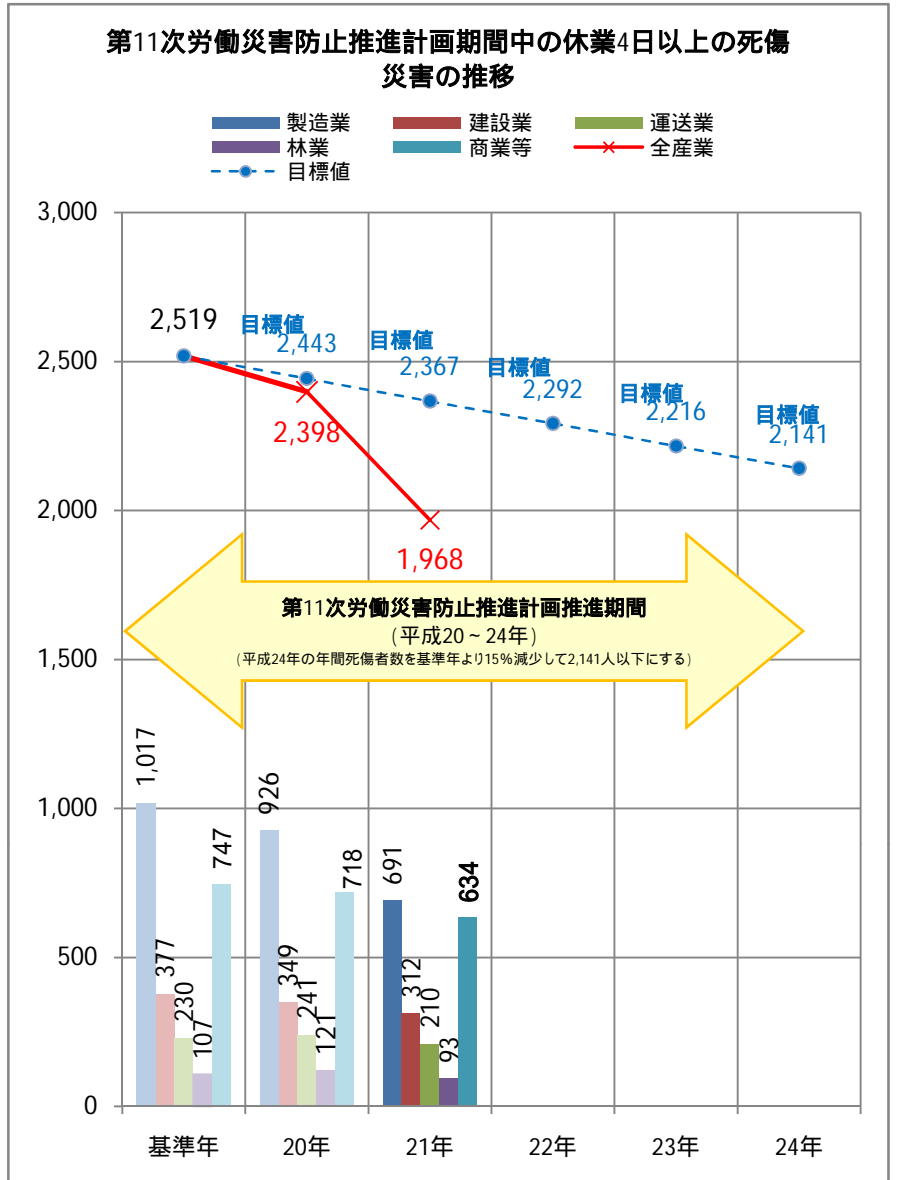
死亡災害撲滅に向けた対策

労働災害の大幅減少に向けた対策

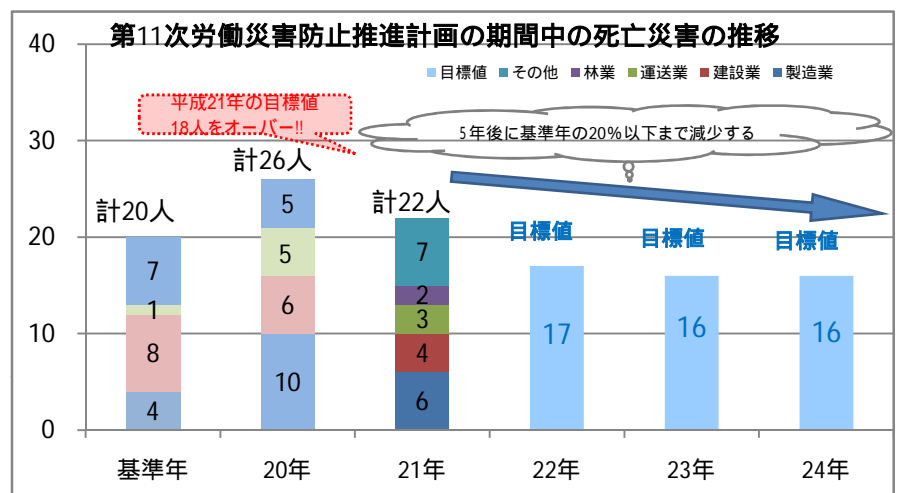
労働者の健康確保対策の促進

安全衛生管理体制の強化

労働災害防止団体等との連携等



業種	基準年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	11次防期間中
製造業	1017	926	691				1617
建設業	377	349	312				661
運送業	230	241	210				451
林業	107	121	93				214
商業等	747	718	634				1352
上記以外	41	43	28				71
全産業	2,519	2,398	1,968				4,366



## 2 平成21年 労働災害発生状況

### 平成21年業種別労働災害発生状況（前年対比）

業種	年別		平成21年		平成20年		対前年比		構成比
	平成21年	平成20年	増減数	死傷者増減率					
全産業	1,968 (22)	2,398 (26)	-430 (-4)	-17.9%	100.0%				
製造業	691 (6)	926 (10)	-235 (-4)	-25.4%	35.1%				
食料品	111	166 (2)	-55 (-2)	-33.1%	5.6%				
繊維工業	12	23	-11 (0)	-47.8%	0.6%				
衣服その他の繊維製品	13	3	10 (0)	333.3%	0.7%				
木材・木製品	50	46	4 (0)	8.7%	2.5%				
家具・装備品	38	34	4 (0)	11.8%	1.9%				
パルプ・紙・紙加工品	30	45 (1)	-15 (-1)	-33.3%	1.5%				
印刷・製本業	22	16	6 (0)	37.5%	1.1%				
化学工業	43 (1)	71 (1)	-28 (0)	-39.4%	2.2%				
窯業土石製品	83 (4)	103 (1)	-20 (3)	-19.4%	4.2%				
鉄鋼業	17 (1)	21 (1)	-4 (0)	-19.0%	0.9%				
非鉄金属	10	22	-12 (0)	-54.5%	0.5%				
金属製品	109	146	-37 (0)	-25.3%	5.5%				
一般機械器具	46	81 (1)	-35 (-1)	-43.2%	2.3%				
電気機械器具	7	22 (1)	-15 (-1)	-68.2%	0.4%				
輸送用機械等	41	67 (1)	-26 (-1)	-38.8%	2.1%				
電気・ガス・水道業	2	4	-2 (0)	-50.0%	0.1%				
その他の製造業	57	56 (1)	1 (-1)	1.8%	2.9%				
鉱業	5	13	-8 (0)	-61.5%	0.3%				
土石採取業等	5	11	-6 (0)	-54.5%	0.3%				
鉱山保安法適用分	0	2	-2 (0)	-100.0%	0.0%				
建設業	312 (4)	349 (6)	-37 (-2)	-10.6%	15.9%				
土木工事業	84	102 (3)	-18 (-3)	-17.6%	4.3%				
建築工事業	159 (1)	186	-27 (1)	-14.5%	8.1%				
木造家屋建築工事業	64 (1)	66	-2 (1)	-3.0%	3.3%				
その他の建設業	69 (3)	61 (3)	8 (0)	13.1%	3.5%				
運送業	210 (3)	241 (5)	-31 (-2)	-12.9%	10.7%				
陸上貨物運送事業	187 (3)	217 (3)	-30 (0)	-13.8%	9.5%				
農林・畜産・水産業	116 (2)	151	-35 (2)	-23.2%	5.9%				
林業	93 (2)	121	-28 (2)	-23.1%	4.7%				
商業等の事業	634 (7)	718 (5)	-84 (2)	-11.7%	32.2%				
商業	217 (2)	221 (3)	-4 (-1)	-1.8%	11.0%				
卸小売業	201 (1)	208 (3)	-7 (-2)	-3.4%	10.2%				
金融広告業	20	25 (1)	-5 (-1)	-20.0%	1.0%				
映画・演劇業	0	1	-1 (0)	-100.0%	0.0%				
通信業	48	79	-31 (0)	-39.2%	2.4%				
教育研究	11	7	4 (0)	57.1%	0.6%				
保健衛生業	84 (1)	88	-4 (1)	-4.5%	4.3%				
接客娯楽	149 (2)	169	-20 (2)	-11.8%	7.6%				
旅館業	37	32	5 (0)	15.6%	1.9%				
ゴルフ場	48 (2)	58	-10 (2)	-17.2%	2.4%				
清掃・と畜業	64	65 (1)	-1 (-1)	-1.5%	3.3%				
官公署	1	3	-2 (0)	-66.7%	0.1%				
その他の事業	40 (2)	60	-20 (2)	-33.3%	2.0%				

労働者死傷病報告による休業4日以上の死傷者数を統計したものです。

カッコ書きの数値は死亡者数を内数で示しています。

木造家屋建築工事業は、建築工事業の内数です。

## 平成21年業種別監督署管轄別労働災害発生状況

業種	岐阜署	大垣署	高山署	多治見署	関署	恵那署	岐阜八幡署
全産業	695 (6)	350 (3)	205 (5)	265 (3)	240 (2)	150 (2)	63 (1)
製造業	218 (1)	148 (2)	62 (1)	88 (1)	104 (1)	56	15
食料品	44	22	15	8	8	14	0
繊維工業	8	3	0	0	1	0	0
衣服その他の繊維製品	9	3	0	1	0	0	0
木材・木製品	11	4	14	5	12	4	0
家具・装備品	16	9	9	0	1	0	3
パルプ・紙・紙加工品	9	1	1	8	5	6	0
印刷・製本業	9	6	1	0	4	2	0
化学工業	11	12	5	0	11 (1)	4	0
窯業土石製品	5	17 (2)	5 (1)	39 (1)	8	9	0
鉄鋼業	14 (1)	1	0	1	1	0	0
非鉄金属	3	0	0	1	4	2	0
金属製品	29	31	3	7	27	6	6
一般機械器具	14	16	2	5	6	3	0
電気機械器具	0	4	0	0	0	3	0
輸送用機械等	14	6	0	7	11	1	2
電気・ガス・水道業	2	0	0	0	0	0	0
その他の製造業	20	13	7	6	5	2	4
鉱業	0	2	1	1	1	0	0
土石採取業等	0	2	1	1	1	0	0
鉱山保安法適用分	0	0	0	0	0	0	0
建設業	111 (2)	63	36 (1)	26	36	29 (1)	11
土木工事業	24	22	11	11	7	8	1
建築工事業	51 (1)	31	17	12	21	18	9
木造家屋建築工事業	16 (1)	10	10	5	8	7	8
その他の建設業	36 (1)	10	8 (1)	3	8	3 (1)	1
運送業	98 (2)	34	15	29 (1)	22	9	3
陸上貨物運送事業	82 (2)	30	14	28 (1)	21	9	3
農林・畜産・水産業	18	12	30 (2)	2	26	12	16
林業	10	7	27 (2)	2	23	8	16
商業等の事業	250 (1)	91 (1)	61 (1)	119 (1)	51 (1)	44 (1)	18 (1)
商業	82	46	15 (1)	45	17 (1)	11	1
卸小売業	77	42	12	43	16 (1)	10	1
金融広告業	14	0	0	2	1	3	0
映画・演劇業	0	0	0	0	0	0	0
通信業	28	4	1	4	4	7	0
教育研究	6	0	1	2	1	1	0
保健衛生業	32	14	7	13	6	9	3 (1)
接客娯楽	43	8	25	42 (1)	12	8 (1)	11
旅館業	11	1	20	4	1	0	0
ゴルフ場	3	3	0	26 (1)	7	8 (1)	1
清掃・と畜業	28	11	9	6	7	2	1
官公署	1	0	0	0	0	0	0
その他の事業	16 (1)	8 (1)	3	5	3	3	2

労働者死傷病報告による休業4日以上の死傷者数を統計したものです。

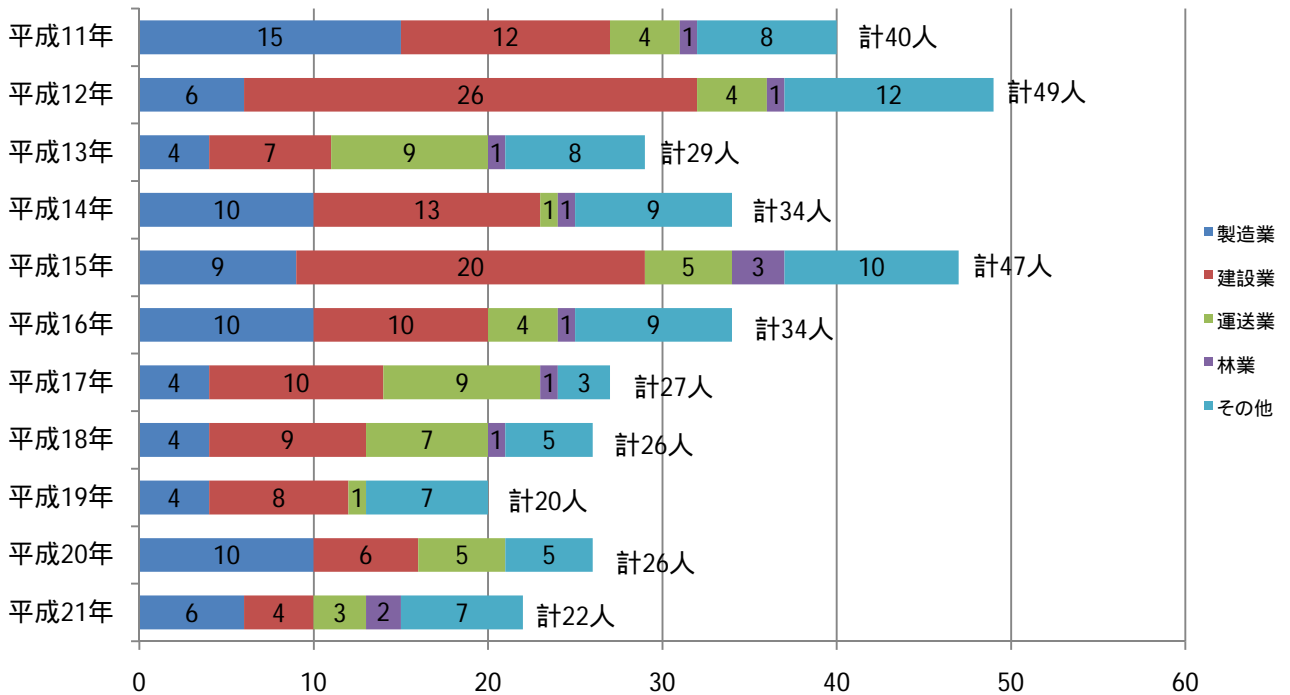
カッコ書きの数値は死亡者数を内数で示しています。

木造家屋建築工事業は、建築工事業の内数です。

### 3 業種別でみる労働災害発生状況の推移

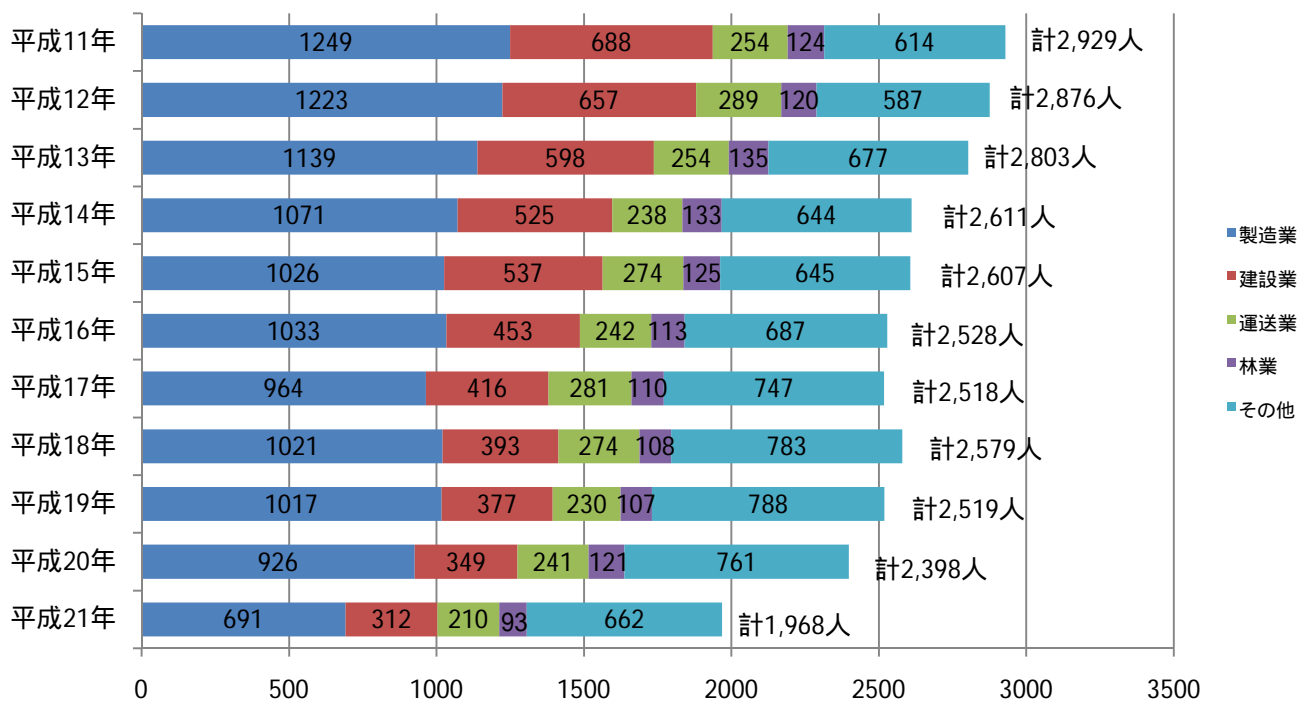
#### 死亡災害（平成11年～平成21年）

休業4日以上の死傷災害が対前年比17.9%、対前々年比21.9%減少しているものの、死亡災害は対前年比では減少していますが、対前々年比では2件（10.0%）増加しました。



#### 休業4日以上の死傷災害（平成11年～平成21年）

休業4日以上の死傷災害は、平成11年に3,000件を割り、この10年間で約3割の減少となっております。平成21年の全産業の件数は、対前年比で17.9%と大幅な減少となりました。

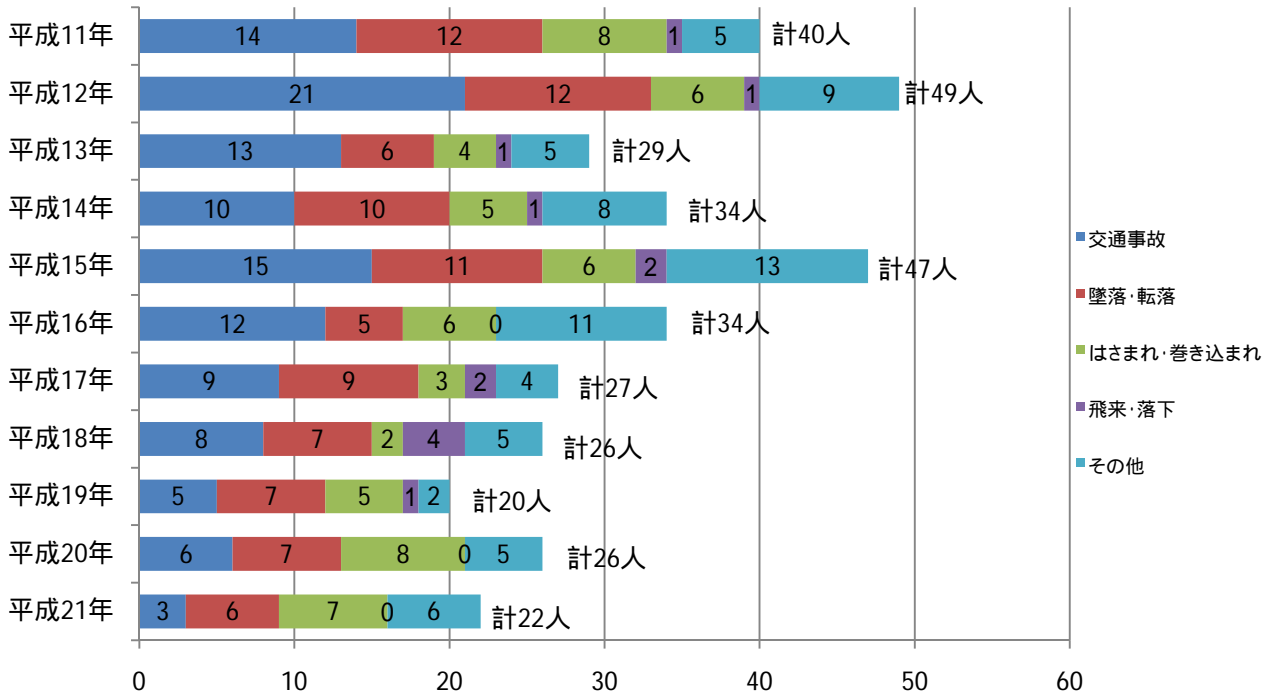




## 4 死亡災害発生状況の推移

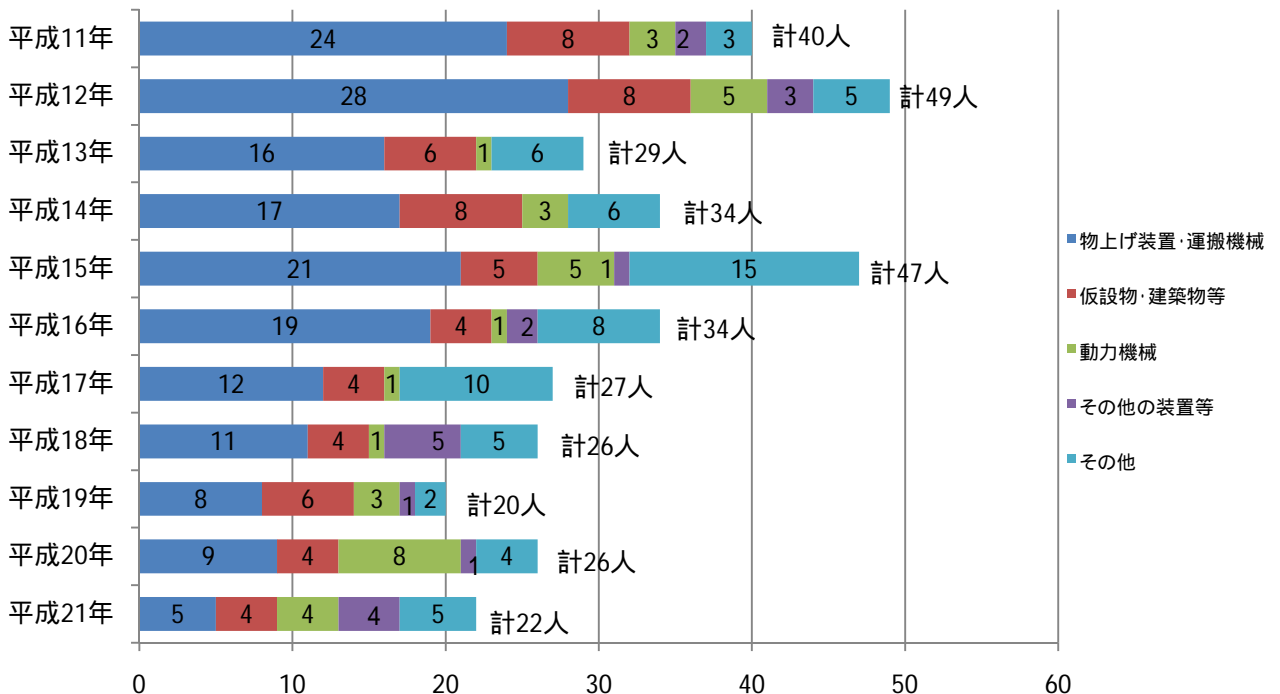
### 事故の型別（平成11年～平成21年）

死亡災害を事故の型別に分類すると、「交通事故」、「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」で大半を占め、平成21年に発生した死亡災害についても72.7%を占めています。平成17年～18年で「はさまれ・巻き込まれ」が減少傾向にあったものの、平成19年以降は増加傾向にあります。



### 起因物別（平成11年～平成21年）

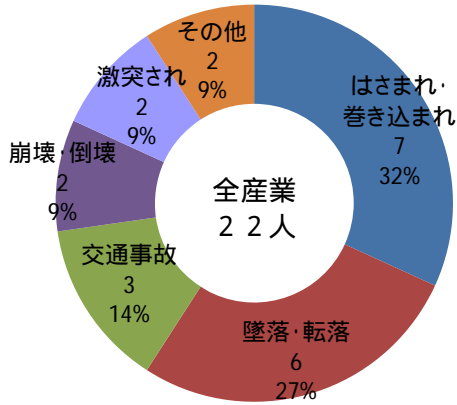
死亡災害を起因物別に分類すると、クレーン、トラック、フォークリフト、乗用車等の「物上げ装置・運搬機械」が起因物となる災害が多発し、起因物で分類すると突出する傾向にありましたが、平成21年はどの起因物もほぼ同数ずつ発生が見受けられました。



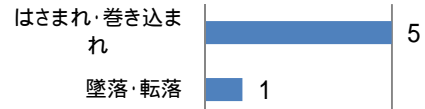
## 5 事故の型別でみる労働災害発生状況

### 死亡災害（平成21年）

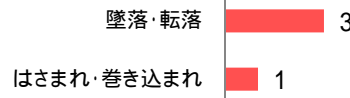
「はさまれ・巻き込まれ」災害が製造業で、「墜落・転落」が建設業で多く発生しています。



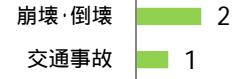
#### 製造業



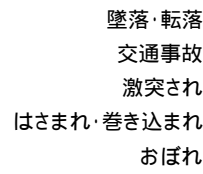
#### 建設業



#### 運送業



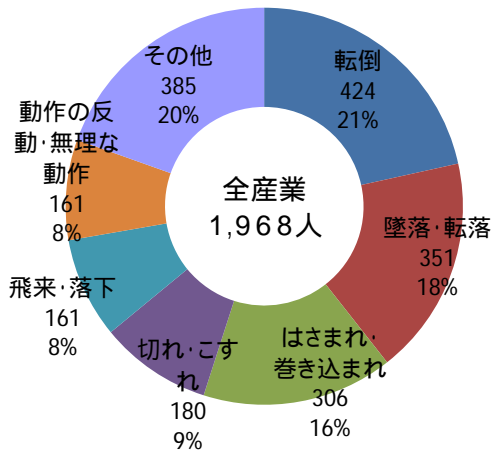
#### 商業等



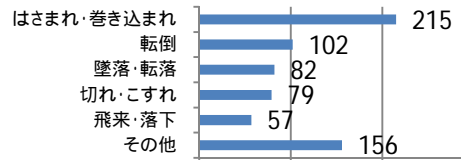
0 5 10

### 休業4日以上の死傷災害（平成21年）

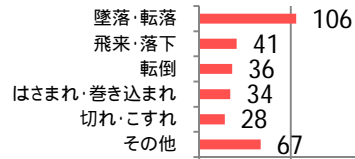
休業4日以上の死傷災害を業種別事故の型を分類すると、業種ごとに多発するものが異なり、製造業では「はさまれ・巻き込まれ」、建設業、運送業では「墜落・転落」、商業等では「転倒」の割合が最も高くなっています。運送業、商業等ではぎっくり腰などが例として挙げられる「動作の反動・無理な動作」も大きな割合を占めています。



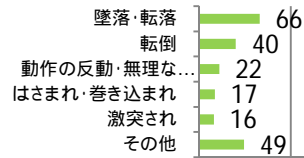
#### 製造業



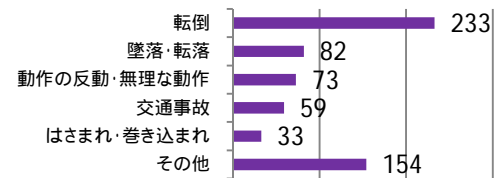
#### 建設業



#### 運送業



#### 商業等

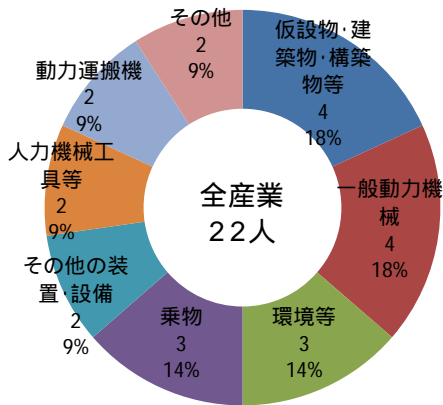


0 100 200 300 400

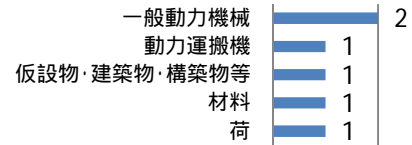
## 6 起因物別でみる労働災害発生状況

### 死亡災害（平成21年）

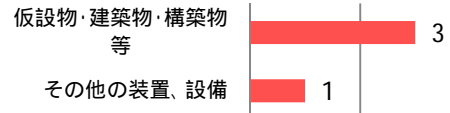
業種ごとに死亡災害の起因となった物の傾向が大きくばらついています。



#### 製造業



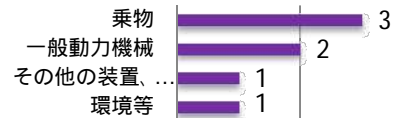
#### 建設業



#### 運送業

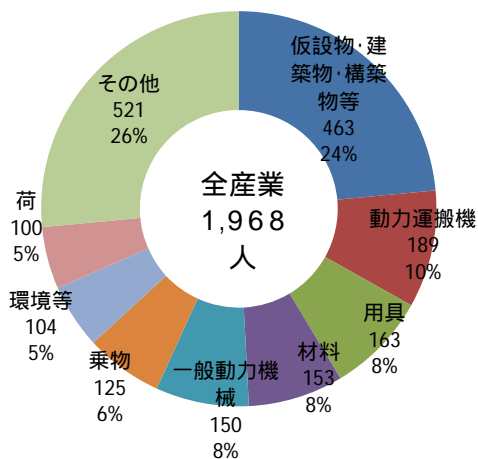


#### 商業等

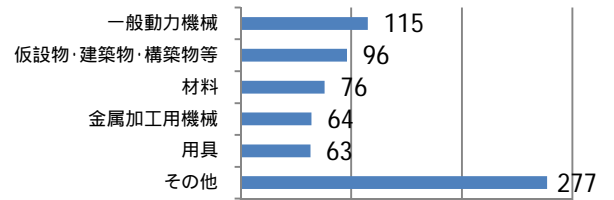


### 休業4日以上死傷災害（平成21年）

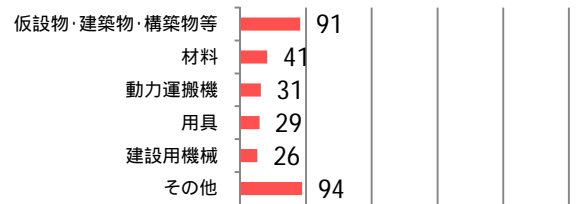
業種別に起因物を分類すると、業種ごとに傾向が大きく異なります。製造業ではロール機、食料品加工用機械の「一般動力機械」が、建設業、商業等では足場、階段、通路等の「仮設物・建築物・構築物等」が、運送業ではトラック、フォークリフト等「動力運搬機」の割合が最も高くなっています。



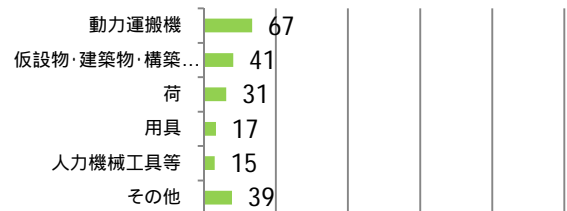
#### 製造業



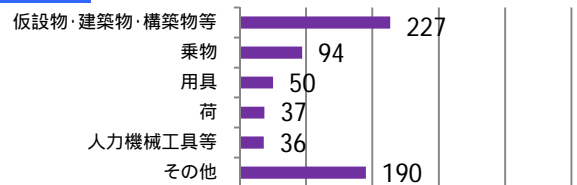
#### 建設業



#### 運送業



#### 商業等

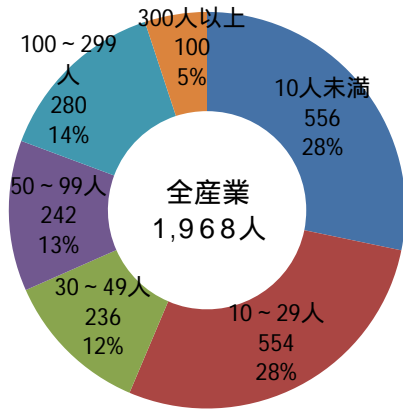


0 100 200 300 400 500

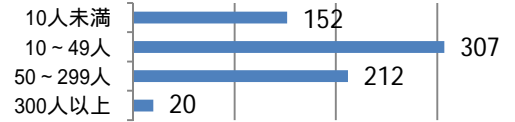
## 7 事業場の規模別でみる労働災害発生状況

### 休業4日以上死傷災害（平成21年）

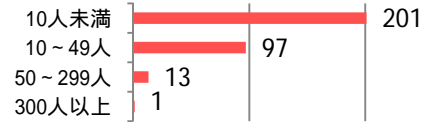
全産業でみると30人未満の事業場で全体の56%の災害が発生しています。（50人未満の事業場では68%。）



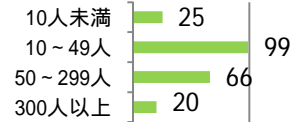
#### 製造業



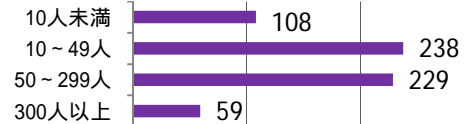
#### 建設業



#### 運送業



#### 商業等

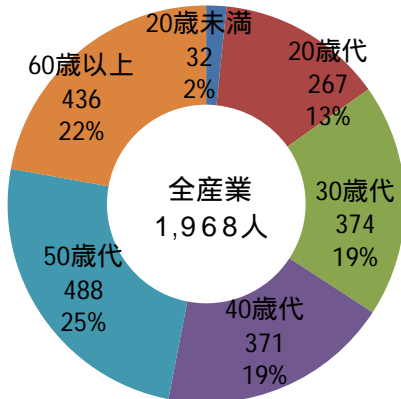


0 100 200 300 400

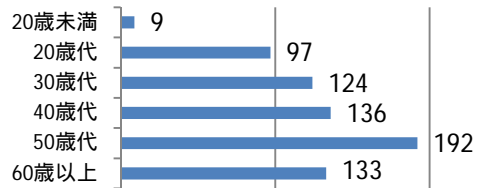
## 8 年齢別でみる労働災害発生状況

### 休業4日以上死傷災害（平成21年）

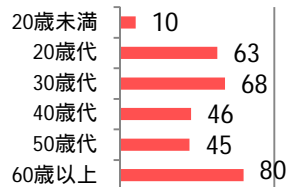
年齢階層別に分類すると、全産業で50歳以上の労働者層の災害が全体の47%となっています。



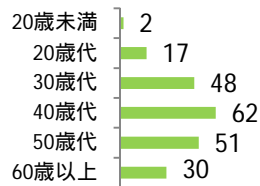
#### 製造業



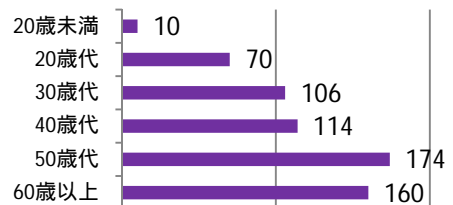
#### 建設業



#### 運送業



#### 商業等



0 100 200 300

## 9 事故の型別・起因物別の労働災害発生状況

平成21年に発生した休業4日以上死傷災害で最も多く発生しているのは、足場、通路、階段等の「仮設物・建築物・構築物等」での「転倒」で、次いで「金属用、木工用、建設用、食料用など各種機械の「動力機械」による「はさまれ・巻き込まれ」です。

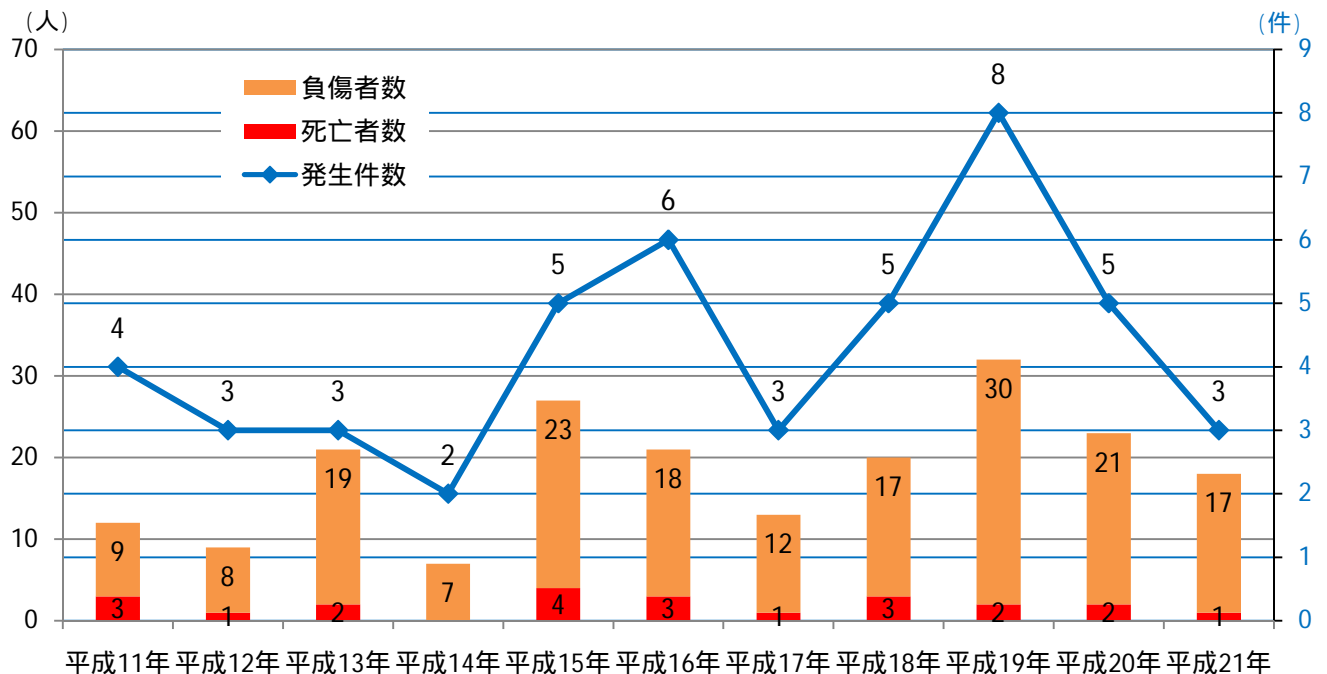
死亡災害では「仮設物・建築物・構築物等」からの「墜落・転落」が最も多く、次に多く発生しているのは「動力機械」による「はさまれ・巻き込まれ」と「物上げ装置・運搬機」による「交通事故」（いわゆる一般公道での乗用車、トラック等の交通事故）です。

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	巻き込まれ・はさまれ	切れ・こすれ	高温の物と接触	交通事故	無理な動作・動作の反動	左記以外	計
動力機械	8 (1)	8	4	15	0	20	168 (3)	127	7	0	2	1	360 (4)
物上げ装置、運搬機械	89	35	26	15	1	18 (1)	73 (1)	1	0	83 (3)	6	1	348 (5)
その他の装置等	92	55	17	32	12 (2)	27	27 (1)	34	21	0	14	2 (1)	333 (4)
仮設物、建築物、構築物等	140 (4)	267	24	6	1	2	7	2	0	1	12	1	463 (4)
物質、材料	7	15	1	54	18	15	18 (1)	8	9	0	9	12	166 (1)
荷	3	13	2	19	2	4	12 (1)	2	0	0	43	0	100 (1)
環境等	12 (1)	21 (1)	3	19	3	26 (1)	1	5	3	1	4	6	104 (3)
その他	0	10	2	1	0	3	0	1	0	1	71	5	94
計	351 (6)	424 (1)	79	161	37 (2)	115 (2)	306 (7)	180	40	86 (3)	161	28 (1)	1968 (22)

注) カッコ内の数値は死亡者数を内数で示したものです。

## 10 重大災害の発生状況

重大災害（一時に3人以上の労働者が業務上死傷又はり病した災害事故）の発生状況は増減を繰り返しています。



## 11 平成21年 死亡災害事例

災害発生の概要は、同種災害防止の見地から編集し、作成しています。

### 製造業

業種	職種	災害発生状況の概要	事故の型	起因物
窯業土石製品製造業	製造工	タイルを乾燥させるために使用する自動ラインの台車で、次の作業工程に進みやすくするため台車間の間隔を手作業で詰めていたところ、台車が動き、台車と建屋の柱との間にはさまれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	機械装置(荷)
鉄鋼業	作業員	台車の電気ケーブルが断線したため、ピット内でケーブルを交換し、作動確認のために電源を投入したところ台車が動き、台車とピットの壁との間ではさまれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機
窯業土石製品製造業	作業員	橋型クレーンでコンクリートパイプ(1本あたりの外径80cm×長さ8.5m、重量4.4t)を運搬する作業中、コンクリートパイプが転がりだしたため、あわてて輪止めしようとしたところ、転がったコンクリートパイプと吊上げていたコンクリートパイプとの間に頭部をはさまれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	材料
窯業土石製品製造業	管理者	ベルトコンベアのキャリアローラーの交換準備の際、作業床として利用した機械の上部から墜落したもの。	墜落、転落	建築物・構築物
窯業土石製品製造業	技術者	生コン投入ホッパーの掃除を行っていたところ、攪拌機のシャフトに上半身を、排出口部分に足をはさまれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	混合機・粉碎機
化学工業	作業員	反物の巻き取り機のローラー部に近づき、着用していた作業服ごとローラーに巻き込まれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	ロール機

### 建設業

業種	職種	災害発生状況の概要	事故の型	起因物
その他の建設業	作業員	橋梁につり足場を設置中、足場板を利用して移動していたところ、足場板が鋼管に緊結されていなかったため、バランスを崩して転落したもの。	墜落、転落	足場
建築工事業	管理者	木造住宅の建方作業中に、2階部から1階に移動するため、幅24cmの板が2枚並べられた足場板を移動していたところ、1階の床に墜落したもの。	墜落、転落	作業床・歩み板
その他の建設業	作業員	砂取船の分解作業において、移動式クレーンで船体の傾きを調節しながら2台の台船をつなぐH鋼を外すため、ボルトの溶断を行っていたが、移動式クレーンの足下が不安定であったために一時中断し、玉外しをしたところ、台船が分断し、転覆したところにはさまれ、巻き込まれたもの。	はさまれ、巻き込まれ	その他の装置、設備
その他の建設業	塗装工	外部非常階段の塗装作業終了後に、塗装のために外していた階段裏板を戻すため、1階と2階の間の踊り場に脚立足場を設置しようと足場板を脚立に緊結中、バランスを崩して転落し、階段の手すりを乗り越え約3m下の地面へ墜落したもの。	墜落、転落	脚立足場

運送業

業種	職種	災害発生状況の概要	事故の型	起因物
道路貨物運送業	運転者	高速道路を走行中、前方の大型トラックを追い越そうと追越車線に車線変更したときに、助手席側が前方の大型トラックに追突し、助手席に同乗していた被災者が死亡したものの。	交通事故(道路)	トラック
道路貨物運送業	運転者	商品約400Kgを載せたかご台車をトラックのリフターに積み込む作業中、運搬していたかご台車が倒れ、下敷きになったものの。	崩壊、倒壊	人力運搬機
道路貨物運送業	運転者	トラックを運転して商品を長距離運送し、客先で台車(商品を積んだ車輪付き台車(約390kg))を降ろそうとウイング貨物トラックの荷台からフォークリフトを使用して一人で作業をしているとき、降ろそうとした台車の隣の台車が落ち、その下敷きになったものの。	崩壊、倒壊	人力運搬機

その他

業種	職種	災害発生状況の概要	事故の型	起因物
ゴルフ場	作業員	ゴルフ場で勾配のある舗道を目砂散布機で上っていたところ、路肩からはみ出し、運転していた被災者が下敷きになったものの。	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械
その他	作業員	高さ約20mの法面で測量作業中、20m下に転落したものの。	墜落、転落	地山・岩石
その他	作業員	上水道の配水池タンクに潜水し、タンク底部の清掃を行っていた。作業終了後、タンク上部の出入り口から出る際に送気マスクを外したところ、マスクがタンク底部の配水管に吸い込まれ、引っかかってしまった。予備マスクを装着し、再び潜水して吸い込まれたマスクを外していたところ、右手が配水管に引き込まれ、その際に予備マスクがはずれ、溺れたものの。	おぼれ	その他の装置、設備
ゴルフ場	作業員	ゴルフ場の芝刈りのため、芝刈り機を運転中に、路肩から勾配約40°の斜面を約4m転落し、転落後に芝刈り機の下敷きになったものの。	墜落、転落	一般動力機械
社会福祉施設	事務員	鉄道の踏切で発生した自動車と電車による衝突事故で、自動車の運転手が死亡したものの。	交通事故(道路)	乗用車・鉄道車輛
商業	作業員	駐車場整理員の被災者が、自動車の誘導中に後進してきた乗用車にはねられた後、後進してきた車と別の乗用車との間にはさまれたものの。	激突され	乗用車
林業	作業員	間伐作業中、伐採したモミの木(直径20cm 樹高約10m)が隣接する松の木にかかり木となり、元玉切りをしたが外れなかったため、放置して別の立木の間伐していたところ、かかり木になっていた木が倒れ、下敷きになったものの。	激突され	立木等
林業	作業員	斜度約35度の斜面で間伐作業を行っていたところ、斜面で滑って転倒し、胸部を強打したものの。	転倒	環境等
新聞販売業	配達員	ミニバイクで夕刊配達中、信号機及び一旦停止のない交差点に進入したところ、左側から走行してきた軽トラックと出会い頭に衝突し、頭部等を強打したものの。	交通事故(道路)	乗用車・バイク

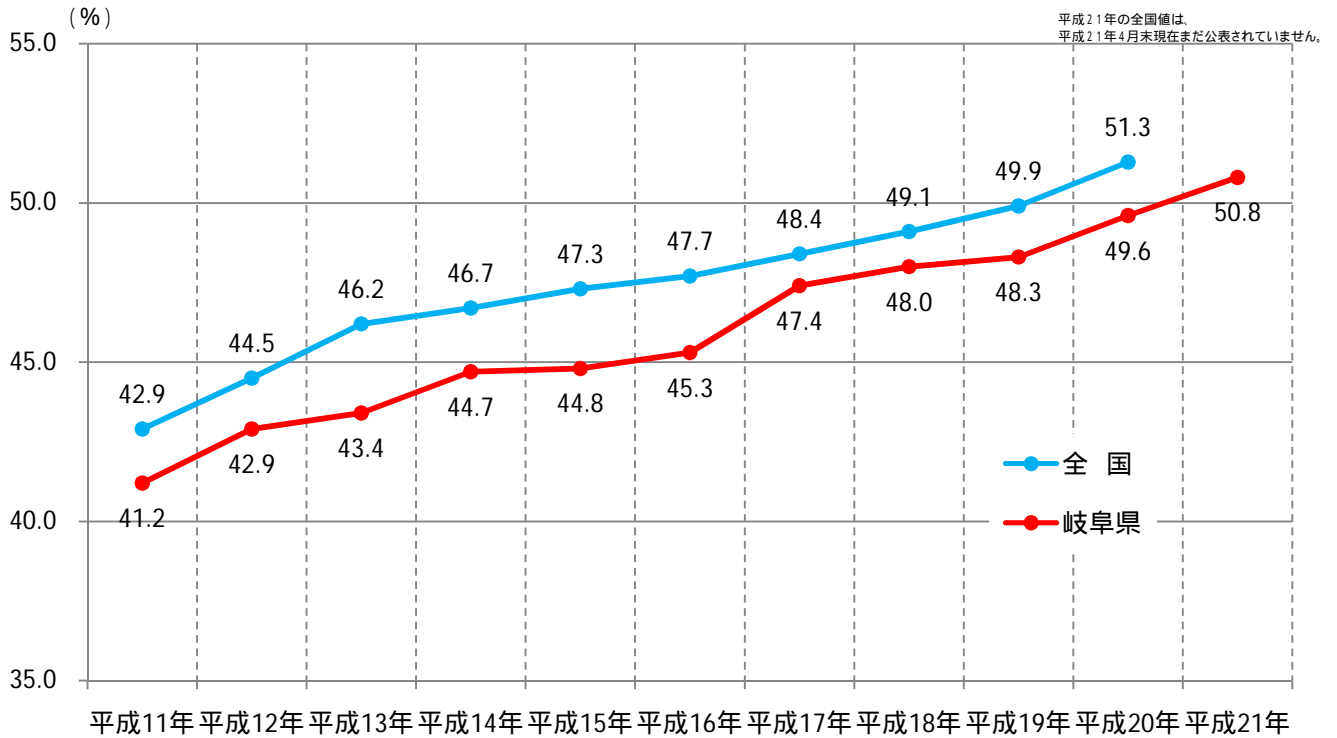


## 12 定期健康診断実施結果

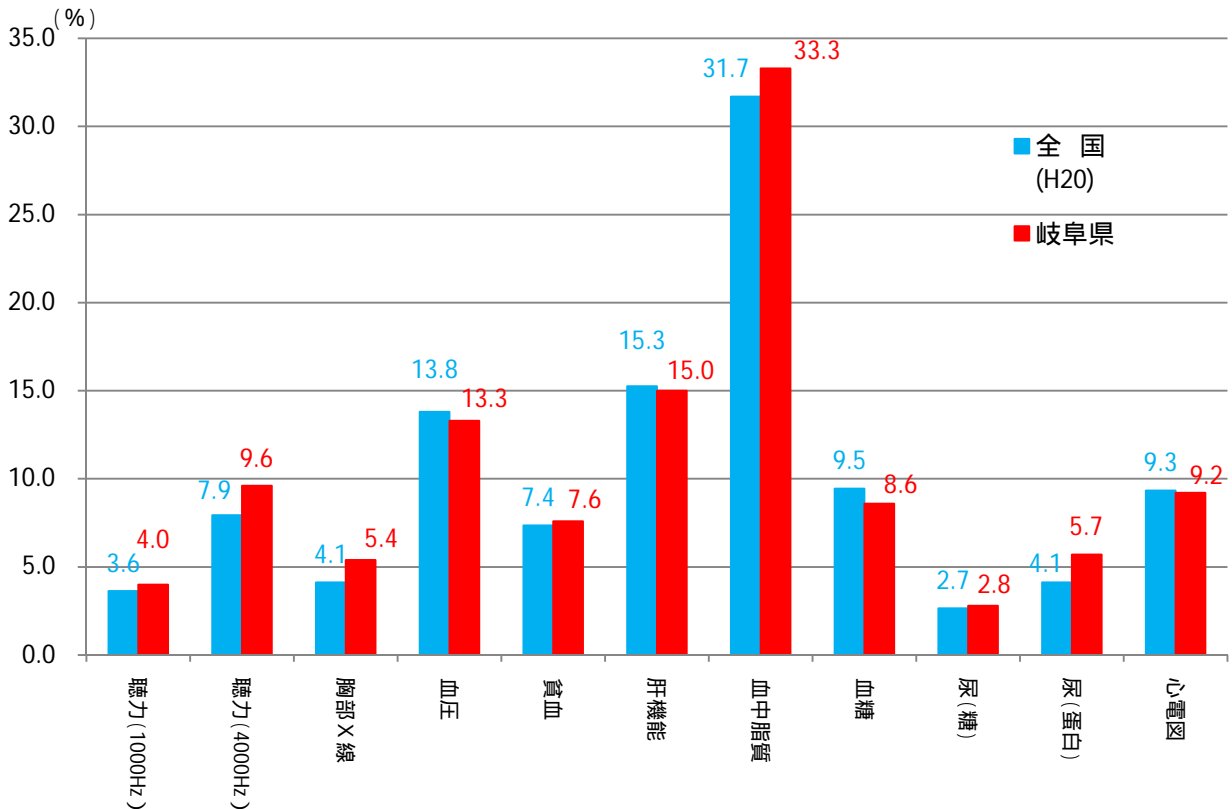
定期健康診断の有所見率は年々増加しており、2人に1人は何らかの所見が認められる割合になっています。

検査項目別では、「血中脂質」、「肝機能」、「血压」、の有所見が高くなっています。

### 定期健康診断の有所見率の推移



### 平成21年検査項目別の有所見率(全産業)

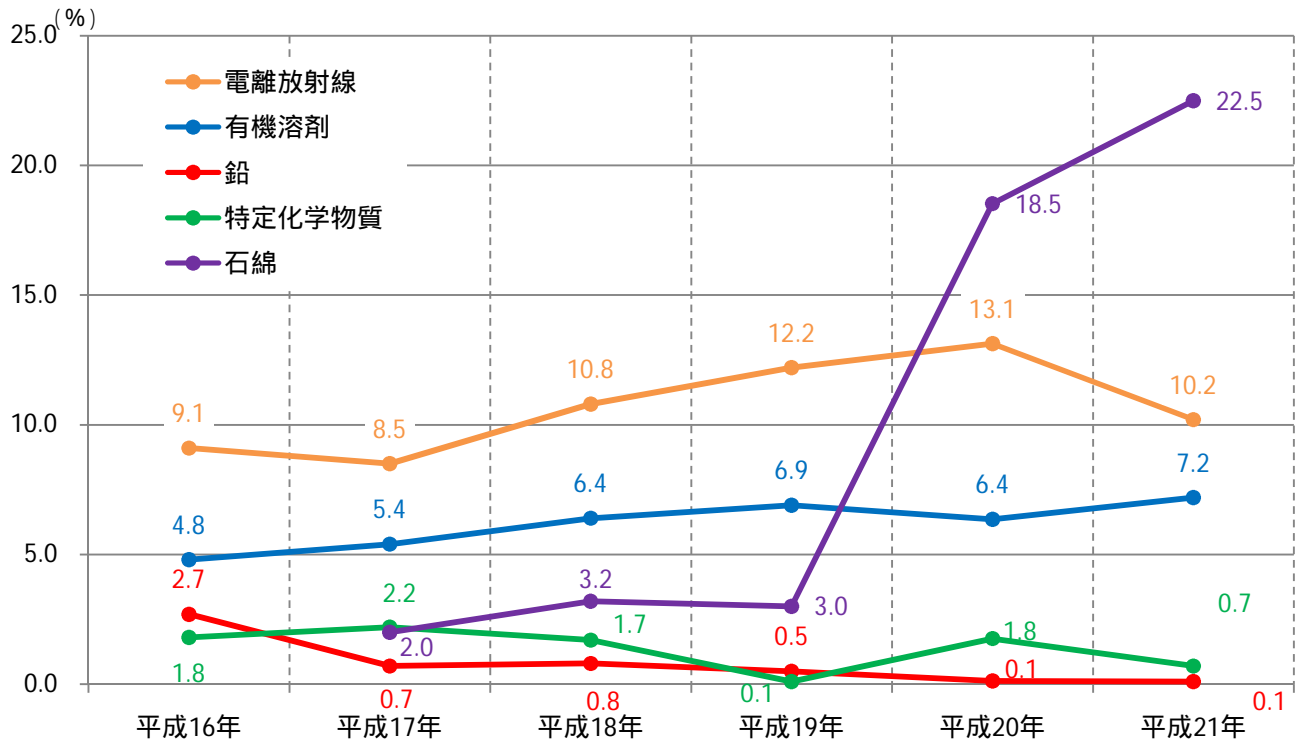




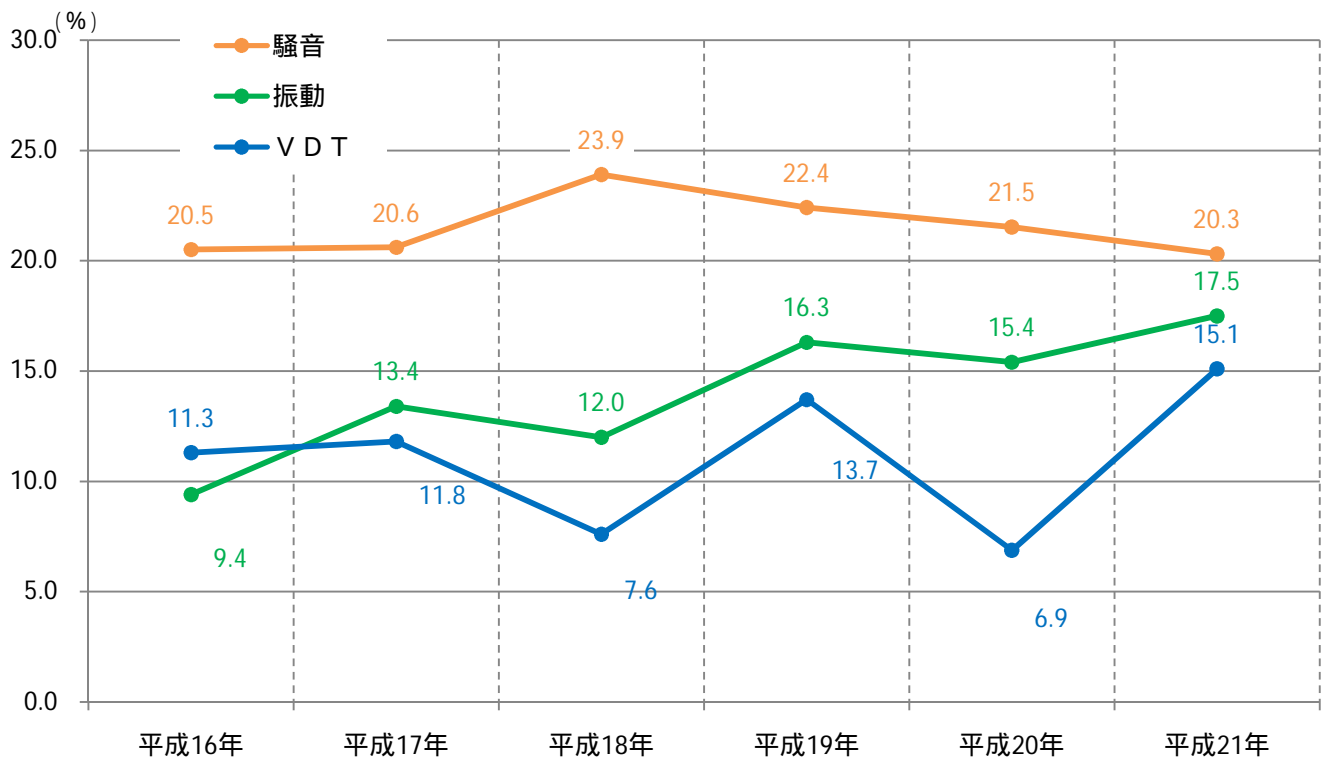
## 13 特殊健康診断実施結果

法定の特殊健康診断では、石綿健康診断の大幅な有所見率の増加が見受けられます。

### 法定特殊健康診断の有所見率の推移



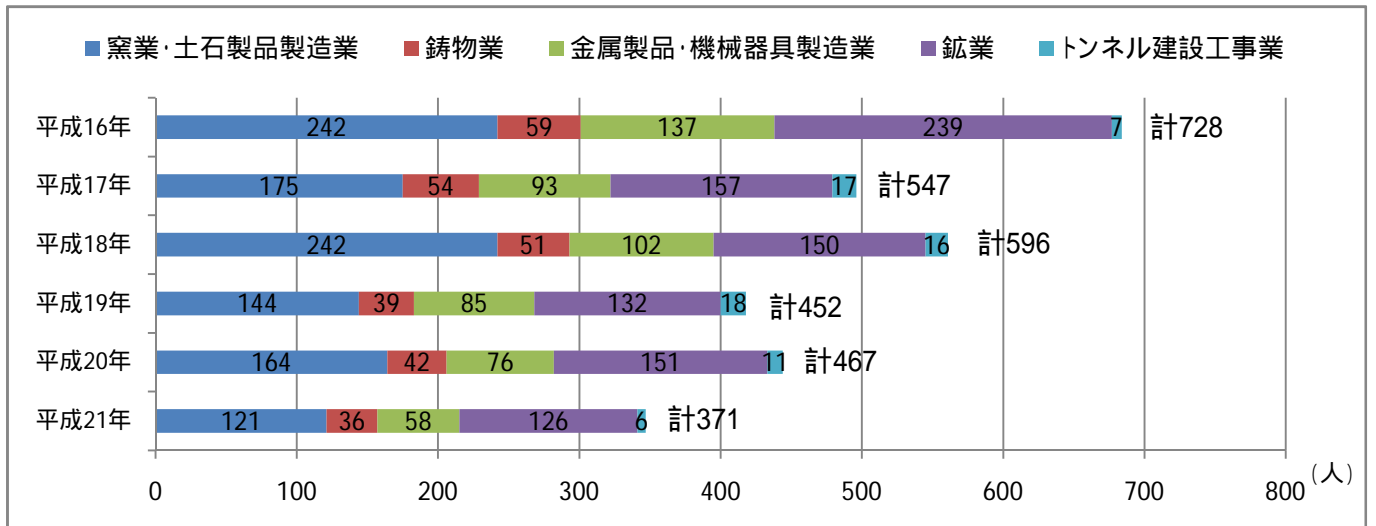
### 指導勧奨に基づく特殊健康診断の有所見率の推移



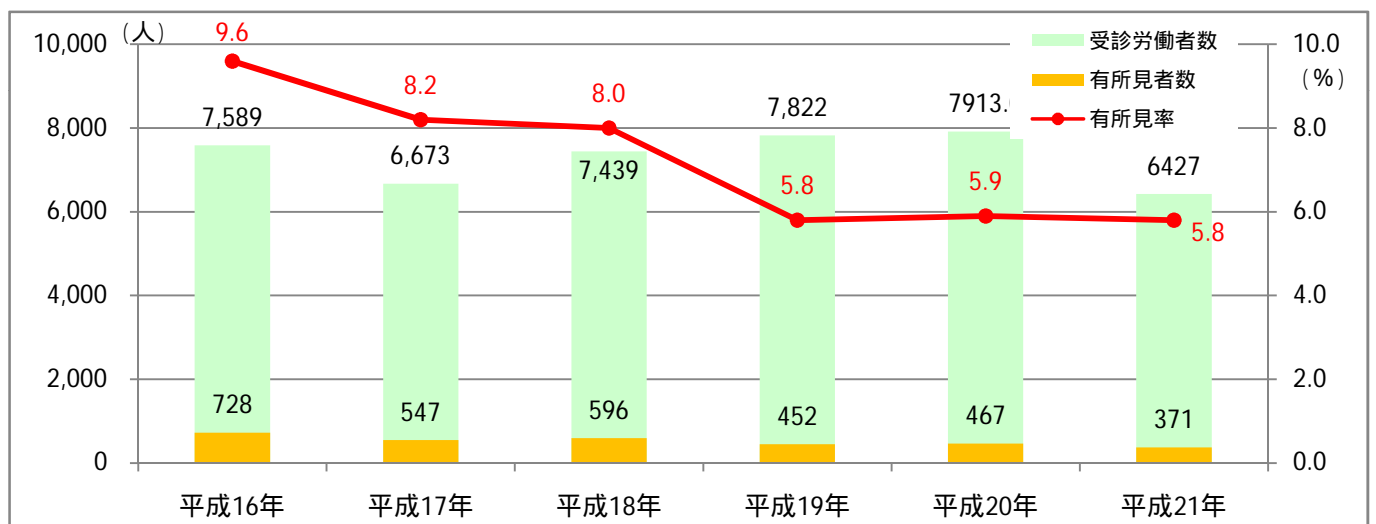
## 14 じん肺管理区分の決定状況(じん肺法第12条関係)

じん肺の有所見者数は、長期的には減少傾向にあります。

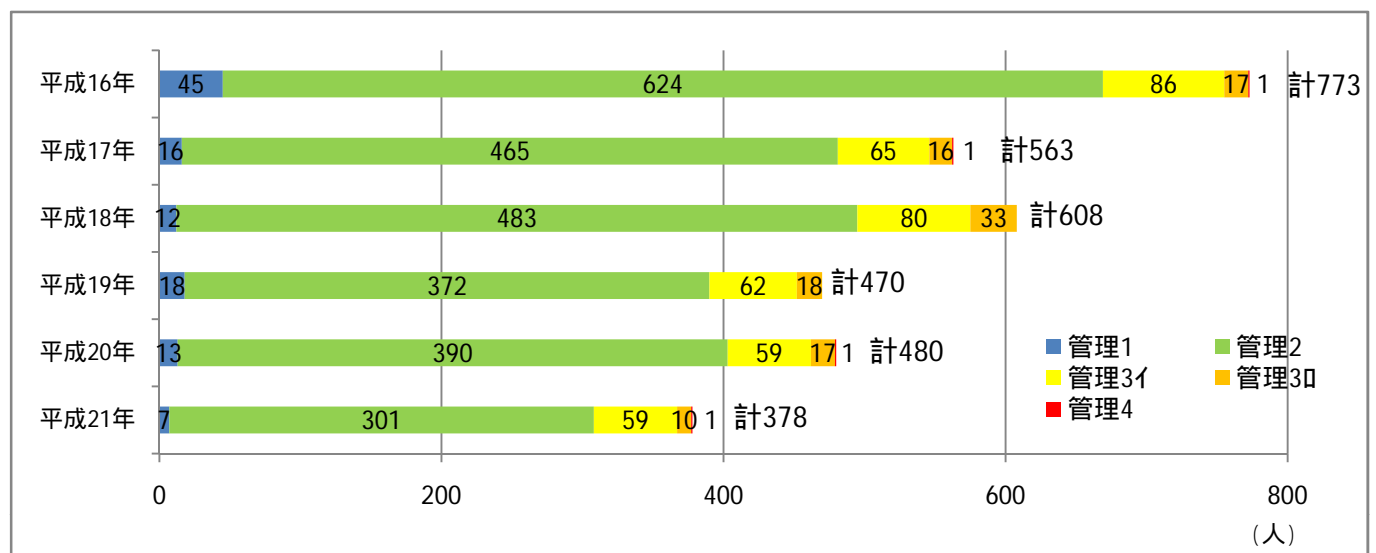
### 主要な業種別じん肺有所見者数の推移



### じん肺健康診断有所見率の推移



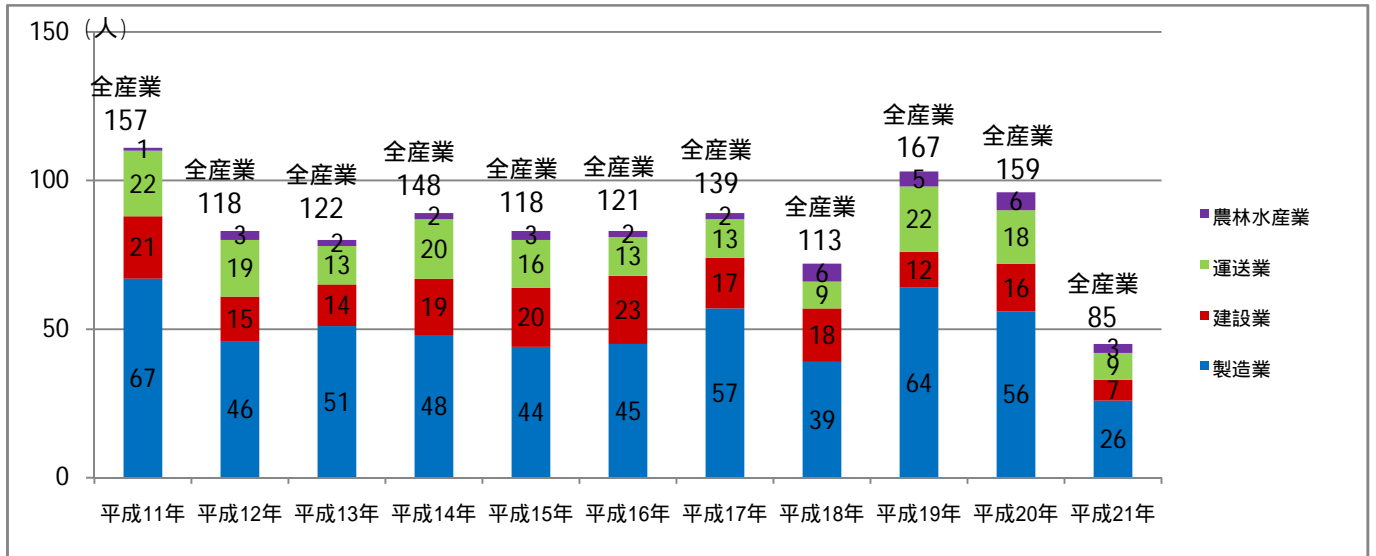
### じん肺管理区分決定状況の推移



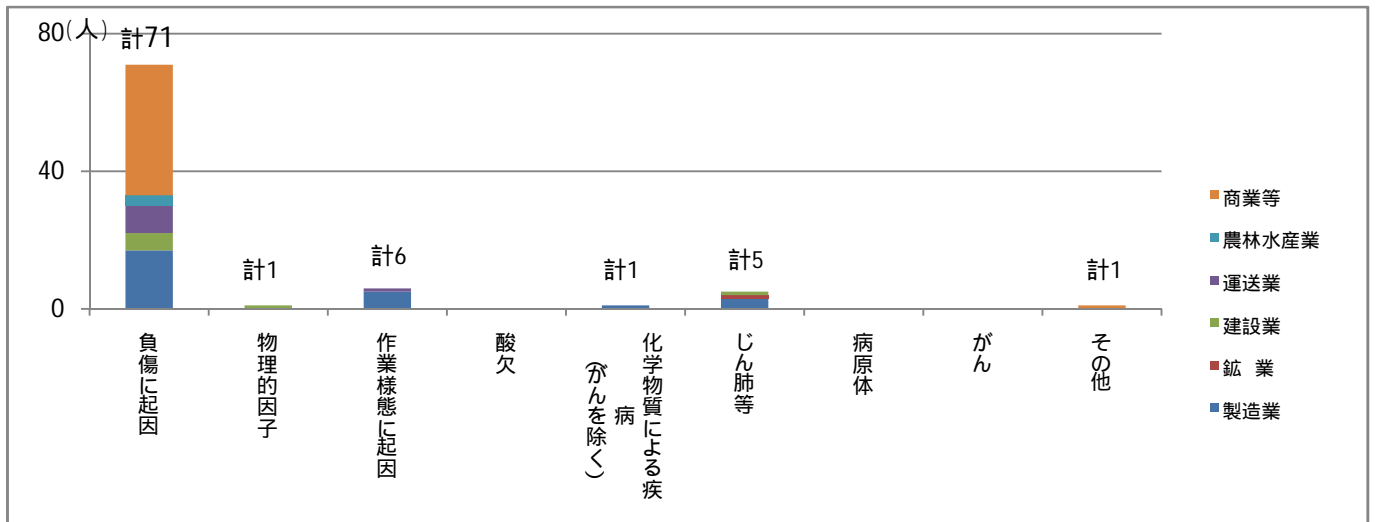
## 15 職業性疾病の発生状況

業務上疾病は長期的には減少傾向にあります。平成19年に大幅な増加に転じましたが、平成21年は大幅に減少しました。業務上疾病のうち、負傷に起因するものが全体の83.5%を占めますが、さらにそのうち63.4%が災害性の腰痛となっています。業種別では、製造業、商業等で多く発生しています。

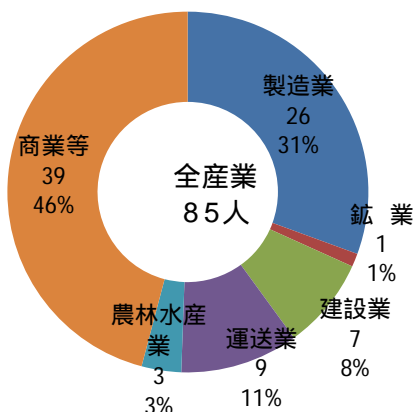
### 主な業種別の発生状況の推移



### 疾病分類別主な業種別の発生状況（平成21年）



### 主な業種別の発生状況（平成21年）



### 主な業種別の腰痛発生状況（平成21年）

